



エフピック広島ファミリー相談室

活動報告

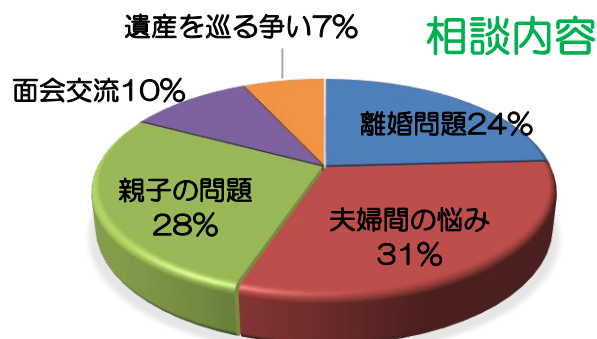
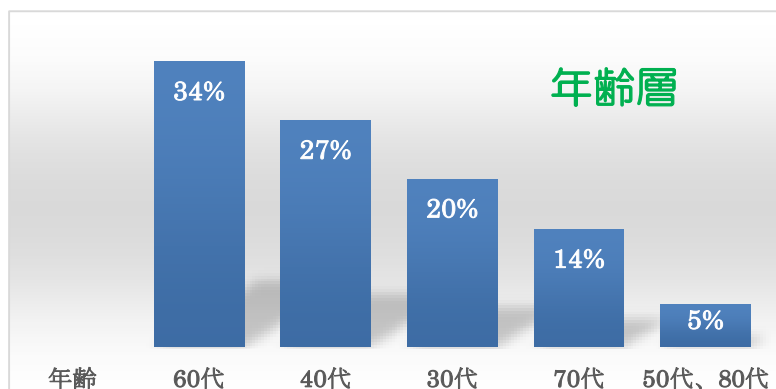
発行日
2016年(平成28年)
6月1日
第4号

若林昌子 FPIC 理事長来広・講演

若林昌子理事長(元福岡家庭裁判所長、元明治大学法科大学院教授、養育費支援制度研究会座長)が平成28年1月17日に来広し、「面会交流における『子の最善の利益』～問題の所在と当事者支援の課題～」と題して講演しました。講演を通し、面会交流は、一時的ではなく、子が父からも母からも愛されている実感が成長の糧になること、離婚した親たちが子育てに関して価値観や達成感を共有し、その喜びや感謝の気持ちを伝えられる継続した関係の構築が何よりも大切との指針を得ました。

★無料相談会を実施しました★

平成28年2月7日(日)午前10時から16時まで、広島市中区地域福祉センターで無料相談会を実施しました。28件(内予約23件)の相談があり終日来訪者が絶えませんでした。



相談内容の内、最も多かった「夫婦間の悩み」は、家庭裁判所にはまだ行っていない段階での夫婦の葛藤の相談でした。次に多かった「親子の問題」では、大学や専門学校を卒業、あるいは中退後働かずに家に引きこもっている若者や、一、二度働いたが、中年の域で家に留まっているいわゆるニートと言われる成人の子どもを抱えている親の相談でした。続く「離婚問題」は、既に別居に踏み切っていたり、調停申立をしている段階での相談で、他に面会交流や遺産を巡る相談がありました。

無料相談会では、家庭問題の相談という特性から、匿名性を尊重し、内容に重点を置き、受付では名前が見えないように工夫をしました。

この無料相談会は、今後 FPIC 広島ファミリー相談室の社会還元事業として、広く地域に根差していくことを目指しています。

(裏面もお読みください)

平成 27年度総会を開催しました

平成28年4月27日(水)、エソール広島活動交流支援センターにおいて、鶴岡健一エフピック事務局長を迎え、記念講演会及び第3回総会を開催しました。

◇ 記念講演

「エフピックの活動を支えるもの」 講師 鶴岡健一エフピック事務局長

① エフピックを巡る最近の動向②広島エフピックから学んだこと③ビジョンと理念④援助活動の原則(組織の運営とケースワーク)を項目に挙げて講話があり、「国からの受注も増え社会的評価も高まり、エフピックブランドとなってきている。当事者支援団体として、より一層の信頼を得るように活動しましょう」と呼びかけがあった。

◇ 総会

倉田治代表を議長に選出し、平成27年度事業報告、決算報告及び監査報告が承認され、平成28年度事業計画(案)、予算(案)が可決された。

代表は、挨拶の中で、「当相談室は、会員の熱意、エネルギー、団結力の三つのボランティア精神で成り立っている。各活動、研修等に対する熱心さから会員の深い人間愛、特に子ども、家族への高い奉仕精神を感じる。社会貢献の活動を今後も続けていきたい」と述べた。

平成 27年度の活動

- ★ 面会交流 援助回数 112回(前年度74回)
- ★ 相談 電話相談130件(前年度62件)・面接相談42件(前年度62件)
- ★ 公証人役場 18件・27人派遣(前年度14件・18名派遣)
- ★ 養育費相談支援センター主催「地域研修会」(対象:自治体の支援員、相談員)の協力
- ★ 赤い羽根共同募金活動の取組(平成28年1月～3月)募金額 942,000円
(マッチングギフト15万円を含む)
- ★ 無料相談会開催(平成28年2月7日) 来訪者28名



赤い羽根共同募金のご協力ありがとうございました

温かいご支援のおかげで、広島ファミリー相談室は安定した運営を続けることができ、また、社会への還元として28年度も「無料相談会」を開催いたします。

公益社団法人 家庭問題情報センター
エフピック(FPIC)広島ファミリー相談室
広島市中区富士見町 11 番6号エソール広島3階
電話・Fax: 082-246-7520 (平日 13:30~16:00)
(時間外) 080-3871-7942
E-mail: fpichiroshima@ybb.ne.jp
HP: <http://www.geocities.jp/fpichiroshima/>

